

1月25日(月曜日)  
ユーロ/円  
ユーロ/ドル  
豪ドル/円

## リスク回避の動き続く

### 22日(金)の主な推移



期間：22日(金)午前7時～23日(土)午前7時  
※チャートは30分足 日本時間にて表示  
出所：外為どっとコム

- ① 米オバマ大統領による金融規制案を受け大幅に下落した前日のNYダウの流れを受けて、日経平均株価が下落傾向を強めると、リスク回避の動きが強まり、クロス円(ユーロ/円や豪ドル円など)は売りが先行した。
- ② 欧州勢の参入後は、時間外のNYダウ先物や原油先物の上昇を背景に、リスク回避の動きが後退しユーロや豪ドルはドルや円に対して小幅ながら値を戻す展開となった。
- ③ オバマ米大統領の金融規制案を嫌気して、NYダウが続落、取引終盤にかけて下げ幅を拡大すると、商品価格の下落も手伝って、為替市場でもリスク回避の動きが進み、ユーロや豪ドルはドルや円に対して下落した。バーナンキFRB議長の再任への不透明感もリスク回避の動きにつながった模様。

### ユーロ/ドル、ユーロ/円の要因

- ・リスクを取ることに積極的になる動きから、円売り、高金利通貨買いの流れ(ユーロ/円上昇要因)
- ・主要新興国(BRICs)を中心にドル離れに動くとの観測(ユーロ上昇要因)
- ・米低金利政策長期化観測に伴う米長期金利の低下(ユーロ/ドル上昇要因)
- ・米景気回復に伴う米長期金利の上昇(ユーロ/ドル下落要因)
- ・リスクを取ることに消極的になる動きから、円の買い戻しの流れ(ユーロ/円下落要因)

### 豪ドル/円の要因

- ・リスクを取ることに積極的になる動きから高金利通貨買いの流れ(豪ドル/円上昇要因)
- ・豪利上げ観測に伴う日豪金利差の拡大(豪ドル/円上昇要因)
- ・株価、資源価格の上昇(豪ドル/円上昇要因)
- ・日銀による追加金融緩和観測(豪ドル/円上昇要因)
- ・豪州中銀による利上げ観測の後退(豪ドル下落要因)
- ・株価、資源価格の下落(豪ドル下落要因)
- ・リスクを取ることに消極的になる動きから、円の買い戻しの流れ(豪ドル下落要因)

### 本日の見通し

#### 本日の予想レンジ

ユーロ/ドル: 1.4000-1.4250ドル  
 ユーロ/円 : 126.20-128.70円

#### 本日の予想レンジ

豪ドル/円: 80.30-82.80円

オバマ米大統領の金融規制案の行方が気になるところであり、今週は27日に米FOMCを控えていることから、様子見の姿勢が強まりそうで、ユーロが急反発する可能性は低いだらう。ユーロにはギリシャ問題もくすぶり続けており、上昇する場面があっても、持続性は期待しづらく、売り優勢の展開が続きそうだ。主要国の株価下落や商品価格の下落もあり、当面は下値を探る動きとなりそうだが、ユーロ/ドルは21日の安値1.4029ドル、ユーロ/円では22日の安値126.50円の攻防が焦点となりそうだ。

中国の引き締め観測と、オバマ米大統領の金融規制案から、市場はリスク回避の動きを強めており、豪ドル/円も1月の高値86.18円から約5円に及ぶ下落幅となっている。引き続き、各国株価や国際商品価格の軟調推移が予想されることから、豪ドル/円も上値の重い展開が予想される。ただ、豪中銀による2月の利上げ期待が続く中、27日には第4四半期の消費者物価指数が発表され、2月の利上げに対する重要な判断材料になることから注目が集まっており、豪ドル/円が大きく売り込まれる可能性は低そうである。

### 本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表数値	市場予想
1/25(月)	24:00	○	(米) 12月中古住宅販売件数	654万件	590万件

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、※予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。